









第33号

令和元年11月

独立行政法人 国立病院機構 千葉東病院 〒260-8712 千葉県千葉市中央区仁戸名町673 Tel. 043-261-5171

# リウマチ教室を開催しました

### リウマチ・アレルギーセンター部長 松村 竜太郎

今年も、9月7日土曜日に千葉東病院リウマチ教室を開催しました。この教室は2005年から毎年一回開催され、リウマチ患者さんやその家族の方に、病気の特徴や治療、生活上の注意点を解説してきました。今年も、手術治療の実際や、薬の解説、体調の悪いとき(シックデイ)の対応の仕方、リウマチ患者さんの転倒予防とリウマチ体操の講演がありました。そして今年からの新しい企画として、リウマチ患者さん同士がお話しをしていただき、リウマチに対してどの様に工夫してきたかなどをお互いに情報交換をする交流会をもうけました。90分の講演の部に続いて、交流会60分でしたが、お話しがつきない様子でした。約70名の患者さんのご参加があり、大変良かった、参考になったなどの好評をいただきました。



### 目 次

リウマチ教室を開催しました表紙
病院各科紹介「外科」2
台風15号の災害時対応 2~3
重症心身障害児(者)への口から食べる大切さ 〜摂食機能向上研修を通して〜4

季節の健康レシピ	5
重心病棟イベント	
「秋祭り」	6
第5回 地域医療連携室通信	7
今後のイベント予定	7
外来担当医表	8

# 病院各科紹介 外科

### 臨床研究部長 圷 尚武

当院外科は、腎移植・膵臓移植・膵島移植などの移植医療を中心に、一般消化器外科全般の診療を担ってきました。しかし、令和元年度より、一般消化器外科手術や移植後の患者様の診療は引き続きおこなってゆきますが、新規の移植手術を中断することとなりました。

૱ઌૺૡ૽૱૱૱ૡ૽ૡ૽૱૱૱ૡ૽ૡ૱૱૱ૡૡ૱૱૱ૡૡ૽૱૱૱ૡૡ૽૱૱૱ૡૡ૽૱૱૱ૡૡ૽ૡ૱૱૱ૡૡૡ૱૱૱ૡૡૡ૱૱ૡૡૡ૱૱૱ૡૡ૱૱૱ૡૡ૽૱૱૱ૡૡ૽૱૱૱ૡૡ૽

現在、消化器外科手術は腹腔鏡による内視鏡手術が盛んに行われております。内視鏡手術は、日本では 1990 年初め頃よりおこなわれ始め、いろいろな手術に取り入れられています。一般的に内視鏡手術は、従来の開腹手術に比べて、手術時間が長くなるなどの欠点はありますが、低侵襲で痛みが少なく、術後の回復が早いといわれており、患者様にとってはメリットが大きいと考えられています。当院でも、内視鏡外科学会の技術認定医がおり、胆石症をはじめとして、胃癌や大腸癌などの消化器外科手術を積極的に内視鏡でおこなっています。

特に最近では、鼠径ヘルニアの腹腔鏡手術にも取り組んでいます。鼠径ヘルニアは、一般的には「脱腸」とよばれており、太ももの付け根あたりにおなかの組織がはみ出した状態をいいます。おなかに力を入れた時や立った時に、太ももの付け根に何か出てくる感じがあり、柔らかい腫れや痛みなどがありますが、指などで押さえると引っ込み、痛みが和らぎます。年をとって筋肉が弱ってくるとヘルニアが起こりやすくなるといわれています。以前は、直接患部を切開する手術をおこなっていましたが、腹腔鏡による手術は、従来の手術に比べて創が小さく痛みや違和感が少なく、再発も少なく、患者様にはメリットの大きい手術です。

胃腸などの消化器の症状や鼠径ヘルニアの症状など、外科に関わる症状や疑問などがありましたら、ご気軽に外科外来にご相談ください。

# 台風15号の災害時対応

### 副看護部長 兵藤 悦子

令和元年9月9日(月)台風15号の襲来で、千葉県全域で甚大な被害が発生しました。当院も敷地内の倒木により、東京電力からの電気供給が寸断し院内の一般電源が停止、雨水による屋内浸水などの被害を生じました。特に停電対応として、直ちに非常用電源に切り替え、患者様の生命に関わる人工呼吸器などの障害を回避することで、人的被害の拡大を生じることはありませんでした。また、スタッフの少ない夜勤帯の時間ではありましたが、日頃の災害訓練の成果が発揮され、職員は冷静に対応できました。停電から電気の供給まで57時間を要しましたが、通電後は、車内で生活をしていた患者家族へ病床を提供するなどの後方援助、携帯電話の電源提供、来院患者様へのお茶の提供等を行いました。また、看護協会から災害支援看護師の派遣依頼があり、3人の看護師を被災地の病院へ派遣しました。今回の自然災害で、水害、停電によるライフラインの寸断時の対応等、新たな課題が見えました。有事に備えて今後も災害対策対応を継続します。





私は「東千葉メディカルセンターER (救急外来)」に4日間(夜勤2回)派遣されました。現地の様子は、9月9日(月)に停電・断水発生。直ちに自家発電で電力供給、10日(火)と11日(水)に自衛隊による水の供給が実施されたとのことです。私が派遣された12日(木)には電気・水道とも完全復旧していました。この病院は「災害拠点病院」であり、他施設より患者受け入れをする役割がありましたが、倒木・冠水・停電の影響で出勤できない職員が多数発生。帰宅困難

で車に寝泊りする職員も居たようです。ERでは9~10日にかけて「熱中症」「交通外傷」等、通常の倍以上の救急搬送を受け入れ、病棟から応援を出し対応していましたが、他院から来ていたDMATも引き揚げ、職員も疲弊しており、人材確保が難しい状態となったため、私を含め災害支援看護師は延べ16名の派遣で対応しました。活動場所は、ERと3箇所の病棟でした。「熱中症」と、「交通外傷」は徐々に減り、以降 瓦の修理で屋根に登り転落した患者が目立ちました。今回の派遣で災害支援は避難所などの支援だけでなく、病院の人的支援も重要であり支援看護師として幅広い知識が必要であることを学びました。

### 副看護師長 乙川 武志





私は、9月24日(火)に「鴨川市立国保病院」へ派遣されました。被災した病院は9月9日(月)より5日間の停電、施設の被害のみならず、職員においても被災された方々が多数いました。20日(金)から4日間、各2名ずつ、計8名の災害支援看護師の要請があり、私が派遣された時点では既にライフラインは復旧していました。主に病棟内での支援を実施し、バイタルサイン測定や記録、介助が必要な患者に対しての清潔ケアを実施しました。職員すべてが復帰したものの、最低人数での病棟運営であるため、看護師長も忙しく動き回っていたのが印象的でした。今回の活動を通して、自分の役割を再認識することができ、自施設での災害看護活動のみならず、有事の際には被災場所に対する支援が求められます。そのため、日ごろから、情報収集に努め、知識習得を行い、いつでも対応できる準備が必要であると考えました。

### 副看護師長 石毛 恵美子





私は、9月18日(水)からの3日間、「さんむ医療センター」で活動を行いました。既にライフラインは復旧しており、通常診療していましたが、災害が長期化したため、病棟の人的支援が必要な状態でした。私の他にも2人の災害支援看護師が派遣されていました。私の活動した病棟は、外科と内科の混合病棟で、業務内容は採血、点滴、オムツ交換、食事介助などの支援を行いました。緊急入院された患者様は自宅の停電が続いて、長期間入浴できていないというお話しでした。今回の支援を通して、災害急性期の支援も重要ですが、長期的な切れ目のない支援の重要性を感じ、災害支援看護師が増えてほしいと思いました。私自身も研修を経て、今年度から災害支援看護師に登録しています。自身が様々な分野で活動できる知識を深めると共に、自分の経験したことを伝え、災害に対する意識の向上を図っていきたいと考えています。



# 重症心身障害児(者)への口から食べる大切さ 〜摂食機能向上研修を通して〜

摂食嚥下障害看護認定看護師 副看護師長 斉藤 雅史

昭和57年から始まった摂食機能向上研修も第37回を迎え、令和元年度は7月25日(木)、26日(金) の2日間で開催しました。この研修目的は、『先天的障害のある児に対して食べる機能を獲得していくために、多職種が連携を図り専門性を活かしながら、どのようなアプローチが必要であるか学ぶ』研修です。毎年、全国の国立病院機構から多くの医療従事者が参加します。今年度は、医師1名、看護師32名、言語聴覚士12名、栄養士13名、理学療法士4名、作業療法士3名、歯科衛生士2名、児童指導員4名、保育士3名の計74名が受講されました。

<del>ŹijĔĊ</del>ĸŶĠijĔĊĸŶĠijĔĊĸŶĠijĔĊĸŶĠijĔĊĸŶŶijĔĊĸŶĠijĔĸĸŶĠijĔĸŶĬijĔĊĸŶĬijĔĊĸŶĬijĔĊĸŶĬijĔĊĸŶĬijĔĠĸŶŶijijĬŔĸŶĬijĬ



1 日目の講義の様子

1日目は、東京歯科大学 阿部伸一 教授による「口腔・咽頭の解剖生理と嚥下メカニズム」、同大学 石田瞭 教授・大久保真衣准教授の「摂食機能発達や嚥下評価」についての講義を行いました。当院からは、重症心身障害児(者)の嚥下に携わっている、大塚義顕 歯科医長の「摂食嚥下障害の診断の流れ」、「口腔機能の診断」、その他に、船越修 理学療法士長、内山智子 栄養管理室長、認定看護師から他職種の取り組みを紹介しました。2日目は、渋谷泰子 歯科医師が加わり、各グループにインストラクターを配置し、摂食機能訓練のグループワークを行いました。訓練の目的や手技のポイントなど研修生に指導し、また昼食時間には、病棟の重症心身障害児(者)の摂食機能訓練の様子を見学しました。研修生からは、「千葉東病院のノウハウを参考にしたい」「千葉東病院の看護師は摂食に対する意識が高い」「この2

日間多くの事を学んだ」などといった意見が聞かれました。

さて、この研修の特徴として例年50%近くが看護師の参加です。この傾向は、看護師は常に食事を介助する中で、「口から食べることへの重要性」は理解しているが、嚥下に対する手技や技術への問題志向があることが、毎回のアンケートから伺えます。特に重症心身障害児(者)は高齢者の摂食嚥下と違い、食べる機能を獲得するために長



2 日目の摂食機能訓練の様子

期間の訓練を継続する必要があります。この研修を受講することで"上唇の動きが良くなってきた" "舌突出がなくなってきた"など、アセスメント力が強化され、訓練の成果が発揮できるようになります。そして、多職種と協働し、口から安全に美味しく食事ができるよう日頃より身体的ケア、精神的ケアを行っていくことも大切なチームプレイへと繋がります。当院は、日々、重症心身障害児(者)の看護を行う際は常に個別性を重視し安全かつ質の高い医療が提供できるようにしています。

最後に、この研修を通して、研修生が自施設へ戻り2日間の学びを活かすことで、少しでも国立病院機構セイフティーネットでもある重症心身障害児(者)の摂食機能が向上することを願っています。

# 季節の健康レシピ さといものコロッケ

Dogle; Dogle;

#### ~材料 (2人分) ~

里芋……120g

豚ひき肉……20g

玉ねぎ ………20g

| 酒………小さじ1

A Pりん………小さじ1

\_\_\_\_しょうゆ·······小さじ1 油 ······小さじ1/2

(衣)

小麦粉………小さじ2

卵……1/2個

パン粉………大さじ1

揚げ油……適量



### コロッケの栄養価(一人分)

エネルギー 168kcal

たんぱく質 4.1 g

食 塩 0.4g

### ~作り方~

- ①里芋は皮をむき、2cm角に切る。玉ねぎはみじん切りにする。
- ②里芋を耐熱容器に入れラップをし、電子レンジで4分ほど加熱して柔らかくなったら潰してマッシュにする。
- ③フライパンを温め、油→玉ねぎ→豚ひき肉の順に入れ炒める。肉の色が変わってきたらAの調味料を入れて味をつける。
- ④③の粗熱がとれたら②の里芋と混ぜ合わせる。
- ⑤4等分に分け、小判型に形成する。
- ⑥小麦粉→卵液→パン粉の順にまぶして衣をつける。
- ⑦揚げ油を170~180度に熱し、⑥をこんがりきつね色になるまで揚げる。

#### ~調理のポイント~

里芋は電子レンジでなく茹でても大丈夫です。

里芋はぬるぬるするので、小麦粉をつけながら形成すると形がきれいになります。

#### ☆エネルギー制限のある方へ☆

今回の調理法は「揚げる」ですが、あらかじめ少量の油で炒めておいたパン粉を衣につけ、トースターで こんがり焼くことで大幅にカロリーを減らすことができます。また、里芋の量を減らし、みじんに切ったき のこ類や人参、ひじきなどを玉ねぎと一緒に炒めて加えてもカロリーを減らすことができます。

#### ☆腎臓病の方へ☆

副菜に油料理を取り入れることは、エネルギー確保方法のひとつです。

コロッケの中に予め味付けをしておくことで、ソースなしでも食べられるようにして減塩に繋げます。熱 々のうちに食べると、こんがりした風味で美味しく食べられます。

ただし、里芋はカリウムを多く含むので、カリウム制限のある方は半量くらいにするとよいでしょう。

~千葉東病院 栄養管理室~

## 重症心身障害病棟「秋祭り」

### 療育指導室 主任保育士 片桐 有佳

9月7日(土)に、31病棟デイルームと32病棟デイルーム、そして療育訓練室等を使用して、秋祭りが盛大に開催されました。当日は地域の大学を中心に約25名のボランティアの手も借りて、縁日やゲームコーナーなどを実施しました。

各病棟のデイルームでは、「射的」のゲームと「中里亜美さんの歌謡ショー」を興行時間別に 分けて行いました。歌謡ショーでは、亜美さんの歌声にウットリしたり、知っている曲に笑顔が 出たりしていました。

療育訓練室では、「さかな釣り」「ヨーヨー釣り」などの屋台の他、ボランティアさんによる ジャグリングショーも開催されました。ホウキやジョウロを使ったジャグリングに歓声が上がり ました。皿回しは、見ていた利用者やご家族、職員も体験することができました。

最後はローラーバランスで三段乗りの大技が決まり拍手喝采!!







スヌーズレン室は「世界旅行」と題して「南国ブース」に変わっていました。大きな海の背景が圧巻です。その前で写真を撮ると、まるで海の中にいるみたいです。ヤシの木やクラゲや珊瑚などの他、南国っぽい楽器も準備して環境を作りました。





まだまだ暑さも残る日でしたが、「ちばとん」も登場して会場を盛り上げました。

# 第5回 地域医療連携室通信

### ~入退院支援センターについて~

当院では、サービス向上の目的で、入退院支援センターを平成30年7月より開設しました。当初は内科など一部の科から入院支援が始まりましたが、徐々に対応する科を増やし、令和元年7月より全科対応となりました。

入退院支援センターで行う入院支援は、入院予約 となった患者さまに対して、安心して入院生活が送 れるように、看護師が面談をしています。この面談 では、ご自宅での生活状況などをお聞きしながら、 入院の説明や入院時に準備する持ち物などについて お話をし、不安の解消を目指しています。また、患 者さまの負担感を減らすために、入院の予約が入っ た当日に、会計の待ち時間を利用して面談ができる ようにしています。約30分前後のお時間をいただき、 患者さまやご家族からの質問も受けながらお話をし ています。また、ご要望などがある場合は、病棟と も連携をとり、患者さま一人ひとりにあった入院治 療および看護が提供できるように努めています。こ のサービスを開始してから、「入院費等について聞 けてよかった」、「脳神経内科の入院日がわかりよ かった」などの声をいただいています。

そして入院後は、退院にむけての不安や心配事について退院調整看護師が相談を受けています。病気を持ちながらも、自分らしく生活できるように、患者さまやご家族の希望に沿ったサポートをスタッフー人ひとりが心がけています。「介護保険のサービスを利用したい」、「訪問看護師に家に来てもらいたい」、「通院が大変なので往診医に家に来てもらいたい」などご要望があれば退院後にサービスが利用できるよう調整をしています。すでに在宅サービスを利用している場合は、退院前に関係者に来ていただき、退院前カンファレンスを行っています。退院後の生活上の問題などを共有し、これからの生活について話し合い、在宅療養が安心して送れるようにしています。



### 外来看護師長 萩原 久子



入退院支援センター入口



連携室受付



面談室



### 外来診療担当医表

令和元年10月1日

衫	療科目	月	火	水	木	金
糖尿病	• 内分泌内科	西村 元伸	西村 元伸 祖山 暁子※1	関直人	西村 元伸 花岡 美貴	
₽ P	臓 内 科	今澤 俊之 李 紀廉 ※2 兵頭 正浩 ※2	首村 守俊 今澤 俊之 ※2·3 福田 亜純 ※2 諸岡 瑞穂 ※2	今澤 俊之 川口 武彦 ※2・3	三浦 茜 ※2	川口 武彦李 紀廉 ※2
リウマチ	・・アレルギー科	松村 竜太郎 前澤 裕子	中澤 卓也	大矢 佳寛	松村 竜太郎 二見 秀一	松村 竜太郎 中澤 卓也
消化器内科			横山 昌幸		新井 誠人 ※2・3	
循 環 器	界内科※2・3	北原 秀喜		神田 真人	中里 毅	林 智彦
脳 神 経 内 科 (新患は完全予約制)		新井 公人	新井 公人 伊藤 喜美子		本田 和弘 武田 貴裕	磯瀬 沙希里 荒木 信之※3
		7711 711178	特殊外来(治験)	特殊外来(治験)	特殊外来(治験)	元木 旧之爪0
呼吸器内科※3						山岸 文雄※2 (第1、3週)
小児科	腎	松村 千惠子 金本 勝義 升田 真依 鵜野 裕一 菅谷 雅人 小林 雅代	<b>*</b> 4	<b>*</b> 4	松村 千惠子 金本 勝義 升田 真依 鵜野 裕一 菅谷 雅人 小林 雅代	<b></b>
	一般 ※1	<b>※</b> 4	担当医	担当医	<b>%</b> 4	担当医
外 科 移植外科	初 診 再 診	圷 尚武 圷 尚武 丸山 通広		(手術日) ※4	圷 尚武	圷 尚武
整 リハビ!	形 外 科 リテーション科 <sup>※1</sup>	田原 正道 橋本 瑛子	(手術日)		勝見 明 萩原 茂生	田原 正道 ※5
眼	科	今井 直樹	(手術日)	今井 直樹	今井 直樹	今井 直樹
形成	外科※1	千明 信一	千明 信一	千明 信一 担当医	千明 信一	
泌尿	器 科 ※3	加藤 繭子	今村 有佑		仲村 和芳	
歯 科	一般歯科	大塚 義顕 渋谷 泰子	大塚 義顕 渋谷 泰子	大塚 義顕 渋谷 泰子		
	摂食嚥下リハビリ 周術期口腔ケア				大塚 義顕 渋谷 泰子	大塚 義顕 渋谷 泰子

診療受付時間(初診・予約外)・・・月曜日~金曜日 午前8:30~午前11:00

- 予約変更専用電話番号 043-264-3593 受付時間 午前9:00~午後4:00 ※1 午前のみの診療となります。

  - ※2 午後のみの診療となります。
  - ※3 新規の患者様については受付けしておりません。再診患者様については予約制となります。
  - ※4 受診を希望される場合は、お電話にてご相談ください。
    - お問い合わせは 月~金曜日(平日)午前8:30~午後4:00の間にお願いします。
  - ※5 新規の患者様については紹介制となります。再診患者様については予約制となります。